

## 平成 28 年度 西区長マニフェスト

西区長 眞島 幸平

## マニフェスト

「都市と農村が融合する、うるおいの住環境と優れた学術環境に育まれるまち」を目指し、人と人とのつながりのなかで、区民が健やかにいきいきと、安心・安全に暮らせるまち、そして、誰もが学び合い、その学びを地域に活かせるまちづくりを推進します。

また、農商工が連携して地場産農産物のブランド化を推進し、生産及び消費の拡大を図るとともに、商店街の活性化や都市と農村の一体感の醸成に繋げていきます。そして、西区の豊かな自然・快適な住環境を活かし、行ってみたい、住みたい、住んで良かったと思えるまちづくりに努めます。

この方針のもと、西区は今年度、次の 3 つの取組を重点的に実施します。

1. 支え合いのしくみと健康づくりを推進します。
2. 魅力あふれる食と農を活用した地域活性化を推進します。
3. 豊かな自然と環境を大切にするまちづくりを推進します。

## マニフェスト実現に向けた取り組み

## 1 支え合いのしくみと健康づくりを推進します。

<b>現状 (課題)</b>	乳幼児から高齢者まで、毎日をより健やかに、安心して暮らしたいという思いは、区民共通の願いです。 しかし、一人暮らし高齢者の増加や核家族化の進行などにより地域のつながりが希薄化し、社会から孤立する高齢者や子育て世帯が増えています。 超高齢社会を迎え、区民が健やかに暮らしていくためには、健康寿命の延伸を図ることも重要です。 また、地域防災力向上のため、自主防災組織の結成及び災害時要援護者の避難支援計画策定を促進する必要があります。	
	<b>課題解決策</b>	<p><b>目標</b> 平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成</p> <p>高齢者や子育てに不安を抱える親に対し、地域ぐるみで見守り、支え合うしくみづくりが必要です。 地域団体や社会福祉協議会、地域包括支援センター等と協働で、地域で高齢者を支え合うしくみづくりを進めるとともに、引き続き保健師などによる高齢者世帯への訪問活動を実施します。 また、超高齢社会において、地域に密着した健康づくりと仲間づくりができ、健康寿命を延伸できるよう、地域や関係機関と連携した健康・介護予防対策を進めるとともに、子育て支援体制や子育てネットワークの充実を図ります。 さらに、地域包括ケアシステムの構築など区民の生活に直結し、区役所に共通する行政課題について、他政令市と情報交換を行う場として「(仮称) 本州東日本西区サミット」を開催します。 地域防災力の強化・充実に向けては、津波浸水想定区域内における防災力強化のため、地域の避難マップの作成や情報伝達体制の整備を進めるとともに、自主防災組織の防災力向上に努めていきます。</p>

<b>主な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者等が安心して生活できる支え合いのしくみづくり</li> <li>・ 高齢者の社会的孤立の防止</li> <li>・ 地域で取り組む健康づくりと介護予防</li> <li>・ 各年代に対応した子育て支援講座の実施</li> <li>・ 地域の避難マップ作成</li> <li>・ 単独自主防災組織の結成促進</li> </ul>
-------------	---

<b>取組結果</b>	<b>主な取組の指標達成状況</b>	<b>設定数</b>	8	<b>達成数</b>	
<b>今後の方針</b>					

2 魅力あふれる食と農を活用した地域活性化を推進します。	
現状（課題）	<p>西区は都市と農村がバランスよく共存しており、良好な住宅地や商業施設が集積するなか、「くろさき茶豆」をはじめとする良質で魅力的な農産物に恵まれています。</p> <p>西区特産農産物のさらなる知名度向上のため、市内はもとより、首都圏に向けてのPRや販売促進にも取り組み、なお一層の消費拡大を進める必要があります。</p> <p>また、6次産業化を推進し、農商工連携による特産農産物のブランド化を進めるとともに、商店街の賑わいづくりにつなげ、人の交流、物の交流をさらに活性化する必要があります。</p>
課題解決策	<p><b>目標</b> 平成28年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第1次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成</p>
	<p>農業まつりなどによる地場産農産物のPRをすすめながら、首都圏を含めた県内外への情報発信及び販売促進に取り組みます。</p> <p>「いもジェンヌ」や「くろさき茶豆」などの特産農産物の生産拡大や高付加価値化を特区効果や農商工連携を活用して取り組むとともに商店街の活性化にもつなげます。</p> <p>また、農業まつりなど交流の場を提供することにより、都市と農村の一体感を醸成し、生産と消費をつなぐ地産地消を推進します。</p> <p>さらに、西区の一層のPRを図るため、西区出身の著名人や西区にゆかりのある方に「西区PR大使」に就任いただき、（仮称）本州東日本西区サミットをはじめ、区の事業やイベント等への参加を通じて、くろさき茶豆やいもジェンヌをはじめとする西区の魅力を区内外に継続して発信していきます。</p>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏での西区特産品の知名度向上と消費拡大</li> <li>・農業まつりによる都市と農村の交流推進</li> <li>・西区特産農産物のブランド化による生産及び消費の拡大と商店街活性化</li> <li>・西区PR大使を活用するとともに様々な機会を捉えた区の魅力の発信</li> </ul>

取組結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な取組の指標達成状況</th> <th>設定数</th> <th>5</th> <th>達成数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数				
	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数					
今後の方針									

### 3 豊かな自然と環境を大切にすまちづくりを推進します。

#### 現状（課題）

海岸保安林に拡大する松くい虫被害については、無人ヘリコプター防除や伐倒駆除などの対策を実施していますが、今後も関係機関との連携を強化しながら、被害を抑えていく必要があります。また、保安林の環境保全を行っているボランティア団体やコミュニティ協議会などの支援を継続することも必要です。

また、魅力的な自然や観光資源を有効活用し、ニーズにあった観光ルートや環境整備による誘客をすすめており、さらに「佐潟」を中心とした魅力ある観光資源の情報発信や区内他地域のまち歩きコースづくりをすることにより交流人口を拡大していくことが必要とされています。

国道402号の飛砂対策は、平成26年度から実施してきた人工堤防の築造などにより、一定の評価を受けていますが、引き続き、交通障害や住宅地への飛砂被害への抜本的な対策の推進が求められています。

海岸付近や西川、新川では、ごみの放置や不法投棄が依然として発生しており、環境の美化が求められています。

#### 目標

平成28年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第1次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成

#### 課題解決策

松くい虫被害を最小限に抑えるため、無人ヘリコプター防除や伐倒駆除を継続実施するとともに、ボランティア団体やコミュニティ協議会などの保安林保全活動への支援を引き続き行います。また、保安林保全の啓発活動を進めるとともに、保安林講座開催によるボランティア団体の育成に努めます。

赤塚地区・佐潟周辺の「北国街道」沿いにある観光資源を活かしたまち歩きや西蒲区と連携したツアーでニーズにあったコースづくりを進めるとともに、黒埼及び内野地域のまち歩きコースづくりを行い、地域団体やボランティアガイドの協力を得ながら、交流人口の拡大を図ります。

国道402号の飛砂対策は、引き続き、飛砂防止柵の設置を行います。また、新潟大学等と連携しながらその効果を検証し、地域住民・海岸管理者等と一体となって進めていきます。

自治会やコミュニティ協議会、ボランティア団体等と連携して西区全域の環境美化活動に取り組み、より多くの区民、団体に参加してもらうことにより、区民一人ひとりのきれいな西区づくりや環境保全に向けた意識の醸成を図ります。

#### 主な取組

- ・海岸保安林の保全・育成活動団体への支援
- ・「北国街道」沿線、黒埼及び内野地域の観光資源を活用した観光客誘致
- ・国道402号の飛砂対策の実施
- ・佐潟を活用した自然保護意識の醸成と交流人口の拡大
- ・西区全体で取り組む西区一斉クリーンデーへの協力・支援

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	6	達成数	
今後の方針					